

# マイクロコンピュータ技術情報

<b>技術通知</b>  78K0S用インサーキット・エミュレータ IE-78K0S-NS  使用制限事項の件		発行番号	ZBG-CD-05-0065号	1/2
		発行日	2005年7月12日	
		発行元	NEC エレクトロニクス株式会社 第四システム事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールグループ	
文書分類	<input type="radio"/> 使用制限事項	バージョンアップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他
関連資料	IE-78K0S-NS ユーザーズ・マニュアル		資料番号: U13549JJ2V0 (第2版)	

CP (K), 0

## 1. 対象製品

IE-78K0S-NS                      管理記号<sup>注</sup>: A, B, C, D, E, F, G

## 2. 制限事項

今回新たに、下記の制限事項を追加させていただきました。詳細は、別紙を参照願います。

No. 9 ウォッチドッグ・タイマによるリセット発生時、不正な Fetch Break で停止する不具合

## 3. 回避策

申し訳ございませんが回避策はございません。詳細は、別紙を参照願います。

## 4. 改善計画

No. 9 について大変申しわけございませんが、恒久的な制限事項とさせていただきます。

注) 管理記号は、10桁の製造番号(シリアルNo.)の左から2桁目に表示されています。  
バージョンアップを行っている場合は、バージョンアップラベルが本体に貼ってあり、  
その中に記載されている V-UP LEVEL X の X が管理記号になります。

**5. 制限事項一覧**

添付の別紙をご参照ください。

**6. 発行文書履歴**

78K0S用インサーキット・エミュレータ  
IE-78K0S-NS 使用制限事項一覧

文書番号	発行日	記事
SBG-T-2052	2000/06/16	初版 (対象管理記号 A,B,C,D,E) 新規不具合事項 (No.6,7)
ZBG-CD-05-0014	2005/02/18	第2版 (対象管理記号 A,B,C,D,E,F) 新規不具合事項 (No.8)
ZBG-CD-05-0065	2005/07/12	第3版 (対象管理記号 A,B,C,D,E,F,G) 新規不具合事項 (No.9)

以上

IE-78K0S-NS 使用上の注意

1. 製品バージョン

製品名：IE-78K0S-NS

管理記号 <sup>注</sup>	備考
A	-
B	エミュレータとデバッガのI/F仕様を拡張
C	不具合No.1,2,3修正
D	不具合No.4修正
E	新製品対応の仕様追加
F	不具合No.6,7修正
G	不具合No.8修正、No.9追加

注) 管理記号は、10桁の製造番号(シリアルNo.)の左から2桁目で表示されています。  
バージョンアップを行っている場合は、バージョンアップラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている V-UP LEVEL X の X が管理記号になります

2. 製品履歴

No.	仕様変更・追加/不具合事項	管理記号						
		A	B	C	D	E	F	G
1	ソフトCPUリセット時の動作不具合1	×	×					
2	トレース表示の不具合	×	×					
3	ソフトCPUリセット時の動作不具合2	×	×					
4	アドレス条件一致時の動作不具合	×	×	×				
5	新製品対応の仕様追加	-	-	-	-			
6	スタンバイ命令実行後の動作不具合1	×	×	×	×	×		
7	スタンバイ命令実行後の動作不具合2	×	×	×	×	×		
8	リセット発生時、不正なFetch Breakで停止する不具合	×	×	×	×	×	×	注
9	ウォッチドッグ・タイムによるリセット発生時、不正なFetch Breakで停止する不具合	恒久的な制限事項						

×：該当する                   ：該当しない(仕様追加)   -：仕様追加未対応

注) 管理記号 G 以上で No.8 の不具合を修正しましたが、一部不具合が残りました。未修正の不具合を No.9 とし、恒久的な制限事項とさせていただきます。

### 3. 不具合及び仕様追加事項の詳細

#### No.1 ソフト CPU リセット時の動作不具合 1

【内容】STEP 実行した直後、ソフト CPU リセットをかけると PC 値が、リセットベクタに登録した値と異なります。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 C 以上で修正しております。

#### No.2 トレース表示の不具合

【内容】EEPROM のアクセスサイクルのトレースが正しく表示されません。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 C 以上で修正しております。

#### No.3 ソフト CPU リセット時の動作不具合 2

【内容】エミュレーション中に、ソフト CPU リセットを実行してもリセットはされますがブレイクしません。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 C 以上で修正しております。

#### No.4 アドレス条件一致時の動作不具合

【内容】デバッガの“Event Set”で割り当てられたアクセスイベントが指定したデバイス条件以外の 0 番地へのアクセスが発生した場合にも、アドレス条件一致とみなしています。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 D 以上で修正しております。

#### No.5 新製品対応の仕様追加

【内容】IE-789850-NS-EM1 及び 2000 年 4 月以後開発・リリースされる 78KOS シリーズのエミュレーションを行う場合、本製品のバージョンアップが必要になります。

IE-78KOS-NS 管理記号 E 以上で仕様追加しております。

#### No.6 スタンバイ命令実行後の動作不具合 1

【内容】スタンバイ (STOP, HALT) を実行した場合、3 秒以内にデバッガの CPU ステータスに状態が表示されてしまいます。通常、3 秒後に表示されます。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 F 以上で修正しております。

#### No.7 スタンバイ命令実行後の動作不具合 2

【内容】スタンバイ (STOP, HALT) を実行後、3 秒内にスタンバイ機能を解除した場合、以降デバッガの CPU ステータスに状態が表示しません。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

IE-78KOS-NS 管理記号 F 以上で修正しております。

#### No.8 リセット発生時、不正な Fetch Break で停止する不具合

【内容】RESET 端子による外部リセット入力、内部リセット (POC, LVI, ウォッチドッグ・タイマ等のリセット) が発生すると、不正な Fetch Break (フェイル・セーフ・ブレイク機能) でプログラムが停止する場合があります。

エミュレーション・ボードやエミュレーション・プローブ、ターゲット・システムに依存しません。

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

不正にプログラムが停止した場合、そのまま“継続して実行 (Go : F5)”していただく事によりその後のユーザ・プログラムのエミュレーションは可能です。

また、“リスタート (Restart : F4)”により最初からのユーザ・プログラム実行、その他の実行機能を使用していただく事も可能です。

IE-78KOS-NS 管理記号 G 以上で修正しております。ただし、ウォッチドッグ・タイマによるリセットが発生した場合のみ、修正されません。未修正の不具合を No.9 とし、恒久的な制限事項とさせていただきます。

## No.9 ウォッチドッグ・タイマによるリセット発生時、不正な Fetch Break で停止する不具合

【内容】ウォッチドッグ・タイマを暴走検出時にリセットを発生するモードで使用した場合、リセットが発生すると不正な Fetch Break (フェイル・セーフ・ブレイク機能) でプログラムが停止する場合があります。

## 該当製品

IE-789014-NS-EM1, IE-789026-NS-EM1, IE-789046-NS-EM1, IE-789088-NS-EM1,  
IE-789136-NS-EM1, IE-789177-NS-EM1, IE-789306-NS-EM1, IE-789418-NS-EM1,  
IE-789436-NS-EM1, IE-789456-NS-EM1, IE-789468-NS-EM1, IE-789488-NS-EM1,  
IE-789801-NS-EM1, IE-789831-NS-EM1, IE-789835-NS-EM1, IE-789840-NS-EM1,  
IE-789850-NS-EM1, IE-789852-NS-EM1, IE-789860-NS-EM1, IE-789862-NS-EM1,  
IE-789871-NS-EM1

## 非該当製品

IE-789882-NS-EM1, IE-789234-NS-EM1, IE-789842-NS-EM1

【回避策】申し訳ございませんが回避策はございません。

不正にプログラムが停止した場合、そのまま“継続して実行 (Go : F5)”していただく事によりその後のユーザ・プログラムのエミュレーションは可能です。

また、“リスタート (Restart : F4)”により最初からのユーザ・プログラム実行、その他の実行機能を使用していただく事も可能です。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

## 4. 注意事項

## 4-1 IE-789014-NS-EM1における注意事項

IE-789014-NS-EM1 において、IE-78K0S-NS と DF789014 は、以下の組み合わせでご使用ください。

IE-78K0S-NS (管理記号 B 以上) の場合	: DF789014 E1.02a 以上
IE-78K0S-NS (管理記号 A) の場合	: DF789014 V1.01

IE-78K0S-NS (管理記号 B 以上) において、DF789014 V1.01 を使用しますと、パラメータ・エラーが発生しデバッグが起動できないという不具合が発生します。

なお、IE-78K0S-NS 管理記号 A から B の変更内容は、今後開発される 78K0S シリーズ・デバイスに対応するために、エミュレータとデバッグの I/F 仕様を拡張したという内容ですので、上記のデバイス・ファイルとの組み合わせであれば、機能的な違いはありません。

## 4-2 本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

## a. 製品保証外となる場合

- ・ 本製品をお客様自身により分解、改造、修理した場合
- ・ 落下、倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・ 過電圧での使用、保障温度範囲外での使用、保障温度範囲外での保存
- ・ 電源、PCインタフェース・ケーブル、ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・ 電源のケーブル、PCインタフェース・ケーブル、エミュレーション・プローブなどに過度の曲げ、引っ張りを与えた場合
- ・ システム構成で記載されている電源以外を使用した
- ・ 本製品を濡らしてしまった場合
- ・ 本製品のGNDとターゲット・システムのGNDに電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・ 本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・ コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合

## b. 安全上の注意

- ・ 長時間使用していると、高温 (50 ~ 60 程度) になることがあります。低温やけどなど、高温になることによる障害にご注意ください。
- ・ 感電には十分注意をしてください。上記、a. 製品保証外となる場合に書かれているような使用方法をすると感電する恐れがあります。

以上